

市政に関する一般質問の概要

9月14日、15日、19日に議員16名が市の考えをたどしました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、市議会議員が市長などの執行機関に対して、海老名市の行政事務全般にわたってその執行状況や今後の方針などについて説明を求め、議員の考えを表明するなど、よりよい市政を目指してさまざまな議論が行われています。今回は、市民の安全や安心に関わる問題を中心に、45項目の一般質問がありました。詳しい内容は会議録でご確認ください。



会議録は市役所1階の情報公開コーナー、中央図書館・有馬図書館でご覧いただけるほか、インターネット上で公開しています。

＜会議録の閲覧検索＞ 市のホームページから「海老名市議会」→「会議録検索」
また、一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネットで録画配信しています（これは海老名市議会の公式記録ではありません）。

＜本会議の録画配信＞ 市のホームページから「本会議中継」→「本会議ライブ中継」、「委員会中継」もご覧いただけます。一般質問の録画配信はこちらから→



新型コロナウイルス感染症について

政進会 葉梨 之紀

問 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5月8日に5類となったことで、全数報告の義務がなくなり、感染状況が把握しにくくなっているのが現状ですが、感染防止や治療の対策は引き続き講じていく必要があります。感染症との闘いは人類対病原体の終わりにき闘いといわれます。ウイルスは数億年前に発生しており、それよりはるかに遅れて出現した人類はウイルスと闘いながら共存してきました。感染症が発生したときは怖がらず、正確な知識を身につけて闘うことが肝要だと思います。

令和2年1月に政府に新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されて以降、本市でもさまざまな対策を迅速に講じていただきました。新聞やテレビなど多くのマスコミにも紹介され、大変評価しているところです。そこで今回の市の一連の対応を振り返り、ワクチン接種に関する市長の総括的な考えと今後の課題について伺います。

答（市長）：シャトルバスなどの移動支援を含む集団接種体制、就労世代向けの夜間の集団接種、保護者が医師と十分相談できるような子どもの接種体制、移動困難な方への巡回接種など医師会をはじめ関係機関の協力をいただき、市民の方が接種したいときにスムーズに接種できる体制が取れたことが、接種率向上につながったと評価しています。

来年3月に特例臨時接種の期間が終わりますが、今後の接種の方向性はまだ国から示されていません。これまで同様、国の動きを注視しながら国、県、市の役割をしっかりと見極めて柔軟、適切に対応していきたいと考えています。

その他の質問

・線状降水帯の災害と台風の発生について



市民の命と暮らしを守る取り組みについて

公明党 日吉 弘子

問 前回の一般質問で、安全・安心のまちづくりについて尋ねましたが、その後、市民の命と暮らしを守るために必要な対策として市が講じた取り組みについて伺います。

答（市民協働部長）：警察との連携強化と情報共有を図るため、市と海老名警察署で構成した交通・防犯調整会議を立ち上げ、自転車用ヘルメットの補助について検討しました。また、自治会長や防犯指導員連絡会、地域防犯連絡所、事業場防犯連絡協議会などで構成した防犯協会連絡会議を立ち上げ、防犯対策用品購入費などの補助について検討しました。これらの会議結果を受けて、自転車運転用ヘルメット補助および防犯対策用品購入費補助について、本定例会の補正予算として上程しております。

問 交通安全対策の取り組みとして、新たな事業について伺います。

答（市民協働部長）：6月に国道246号線の沿線上で大和市から秦野市までの6市が一緒に交通安全安全キャンペーンを行い、高齢者向けには神奈川県警の交通安全教育車ゆとり号を活用した記憶力、反射能力のチェック、判断能力体験などを行うイベントを市役所で実施しました。さらに10月には、市では初めての高齢者安全運転講習会を開催する予定です。

問 行方不明となった認知症の高齢者などを発見できるGPS機能を活用したシステムの導入について伺います。

答（保健福祉部長）：6月に委託業者が変わり、GPS入り専用靴の使用が可能となりました。現在の制度利用者は7名おり、今後も利用希望者には積極的にご案内します。

その他の質問

・投票率の向上について
・教育行政について



交通安全教育車ゆとり号